

# 大久保医院新聞

令和4年(2022年)1月4日発行(第161号)  
発行所:大久保医院(TEL:045-788-6565)  
日本小児科学会認定専門医、日本糖尿病学会認定専門医  
所在地:横浜市金沢区六浦南2丁目42番18号  
<https://clinic-ookubo.com> TEL:045-788-6565

## 新しい年を迎えて

令和4年(2022年)の正月も、新型コロナウイルス感染(オミクロン株)の流行(第6波?)の中で始まりました。皆さんはお元気で正月をお迎えになりましたか。私は、三が日に恒例としています鎌倉の本覚寺を訪れ、「今年はコロナ流行の終わる年でありますように。」とお願いしてきました。



さて突然ではありますが、院長の一身上の理由により大久保医院を、本年3月末に閉院することにしました。

当院をかかりつけ医として通院中の方々には、大変ご迷惑とご不便をおかけいたしますが、どうかお許しください。以下に閉院を決意した理由について記載しますので、寛容の心をもってご理解ください。

閉院を決意した理由は、以下の3つです。

**1) 慢性疾患の罹患:** 私は、昨年9月に75歳になりました。60歳代までは慢性疾患を持ちませんでした。70歳を越えてから毎年ひとつずつ慢性疾患が加わり、現在2つの医療機関に通院しています。自分の年齢と罹患している疾患より、突然に、診療が不可能になり、患者さんに迷惑が掛かるのではないかと恐れております。体力のあるうちに閉院ならば、余裕をもって詳細な紹介状を書き、紹介先の医療機関にそれをお渡しできるのではないかと考えました。これが1つ目の理由です。

**2) コロナウイルス感染症の長期化:** 新型コロナウイルス感染症は、今年の2月で2年となります。当院は、「発熱医療機関等」の指定を受け、午前・午後1時間、厳重な感染防御体制下で診療しています。急性疾患は、その外来でみます。この外来での診療はとても緊張し、診療後に自分がコロナウイルスに感染したのではないかと常に心配してきました。そんな生活がいつまで続くのかわからず、一所懸命でやっている先生には申し訳ないのですが、疲れしました。これが2つ目の理由です。

**3) 新しいものへの挑戦:** 私は昭和47年(1972年)に横浜市立大学医学部を卒業しましたので、医師生活を50年勤めてきました。最初の20年間は、母校とその関連の病院の勤務医、そして後半の30年が、大久保医院の院長でした。医師の職業を天職とし、小児期発症糖尿病の治療・管理をライフワークとし、かぜ症候群の漢方治療の有効性を研究してきました。これまでの医師生活に何らの悔いはありませんが、医師職という狭い一分野しか経験していません。残された人生があとどれほどあるかはわかりませんが、今までの仕事で培った知識が役立つ分野か、またはまったく新しい分野を見つけて、少し社会貢献をしたいと思っています。新しいことに挑戦する人生最後の機会をとる我儘をお許しください。これが3つ目の理由です。

## 閉院のお知らせ

- 1) 大久保医院は、本年3月末に閉院します。長きにわたり、当院に通院していただき深く感謝いたします。
- 2) 1月・2月の診療の際に、転院先の医療機関を相談いたします。ご希望の医療機関がありましたらお知らせください。
- 3) 2月・3月の診察の際に、紹介状をお渡しいたします。

4) 院長(大久保慎一)にインタビュー(1)

Q) 院長が高校時代に読んだ本で記憶に残っているのはなんですか。

A) 父親の書齋にあった岩波古典全集の「平家物語」です。古文を高校の授業で習い、それがきっかけで、読んだ本です。岩波古典全集は、ページの上段に詳しい注釈がありましたので、古文ですが、高校生でも理解することができました。文章を読んでいると、語感がよく、さながら語り部(平曲)を聴くような感じがしました。

この本を読んで、古文に興味をもち、その後その全集の「大鏡」「太平記」と読み進みました。

Q) 院長が医学部学生の時、読んだ本で記憶に残った本はなんでしたか。

A) クローニンの「城砦」です。主人公は、イギリスの医者で、その頃は、卒業後の就職難の時代で、やっとのことで地方の炭坑地方の医者の職にありつきました。そこで苦勞して働きながら博士論文を提出して博士になりました。その後、大都市に就職し、裕福な傲慢な医者になりました。ある時事件があり、それをきっかけに正義感を取り戻し、素直な医者に戻るという筋書きです。私が、開業医を目指した、記念深い作品です。その後、クローニン全集を10冊以上読みました。

## 編集後記

令和4年最初の院内新聞を発行しました。今回は閉院のお知らせとなりました。皆さんにとっては突然のお知らせになったと思います。左ページの閉院を決意した理由をお読みになり、どうかご理解ください。3月末まで、全力で開業医生活を送ります。

当院はユニセフ活動に協力しています。皆様より頂いた令和3年12月20日より令和3年12月31日までの募金をユニセフ協会に送金しました。新聞をお持ちになる方はコピー代として募金活動にご協力下さい。